

No.30 行永大迫城 (別名 行永大宮城) 舞鶴市字行永小字大迫他

- ・遺構---曲輪、堀切
- ・占地---山頂
- ・標高---110m
- ・比高---95m
- ・遺跡地図番号---417

この城は舞鶴医療センターと溝尻谷の間の山頂に位置する。頂上に主郭をおき、そこから北西に続く尾根を堀切で遮断し、長さ約80mの曲輪を形成している。主郭から南方に続く尾根も堀切で遮断しているが、堀切から先に長さ80mに渡って自然地形を利用した曲輪らしき空間があり、その先に再び堀切がある。

城主に関する記録や伝承はないが、溝尻城の西方向の支城として構築された可能性がある。

